

2005年6月24日

八幡事業所 Tel. Fax 672-7595  
sawayaka@eagle.ocn.ne.jp  
小倉事業所 Tel. Fax 571-2299  
sawayakakokura@violin.ocn.ne.jp



# さわやか

第101号

発行者  
特定非営利活動法人  
通院介護センター  
さわやか

## 「さわやか」新聞一〇〇号発刊によせて

### ボランティアさんよりメッセージを

#### 頂きましたので掲載させて頂きます

## 「さわやか」新聞

一〇〇号

### おめでとうございます



小倉事業所  
ボランティア  
谷安様

平成八年九月二十二日に通院介護センター「さわやか」の設立をニュースで知り、ボランティアを募集中との報道を見て、当時はなにかのお手伝いをしたいと思っていましたので、早速九月三十日にも申込書を持参し、お願いしました。

私の「さわやか」での処女運転は、平成八年十月二十四日、曾根から記念病院への送りでした。当初、会社勤務の関係で土曜日と限定させて頂きました。「さわやか」スタッフの皆様のご配慮により、一人の患者さんを長期送迎させて頂いていただきましたので助かりました。

現在三人目の患者さんも三年余になります。車内では写真の話や写真にまつわる話や、

お互いの孫の話等の会話で和やかな雰囲気になります。時には「四時間余の病室での孤独と病に耐えて、病室の玄関を出た時、私の白い車があると、ホッと、今日も楽しい我が家に帰れる」と思うと、何か熱いものを感じます」と言われることもあり

ます。私自身もお手伝いさせて頂き本当に良かったナ、これからも患者さんが安心して治療に専念出来るよう私なりに細やかなサポートが出来ると、今後も精進努力したいと心を新たにすると所です。

「さわやか」新聞発刊一〇〇号おめでとうございます。創刊号が平成八年十二月二十六日に発行され、創刊号には十二月八日、第一回ボランティア研修交流会を小倉飯店で行い、席上江頭会長の、「さわやか」の設立経過報告に続き「設立総会の模様とボランティア最前線」と云うNHKニュース

の集約を見ました。引き続き今後は王子病院

の集約を見ました。引き続き今後は王子病院

のMSWの故坂倉春美副会長さん(合掌)



の「ボランティアの基本的なあり方」について講義がありました(懐かしく思い出されます)その後交流会へと移った記事でスタートを切っていました。当初の新聞は白黒の写真、イラスト印刷でしたが第五十三号(H十三・六・十一)発行の第十四回ボランティア研修交流会(安芸の宮島方面)の報告紙面よりカラー印刷の記載となり五年で随分進歩しました。これもスタッフ皆様の熱心な研究・努力の成果だと思ひ感謝の念一杯です。今後ともボランティア・患者さん・そしてスタッフの皆様との強い絆で結ばれた楽しい情報誌として発展する事を祈念します。

## 「さわやか」新聞

一〇〇号

### おめでとうございます



八幡事業所  
ボランティア  
橋長 宏明様

スタッフの皆様、並々ならぬご苦労、ご努力によって記念すべき、一〇〇号発刊の日を迎えられたものと、心か

らお慶び申し上げます。

平成八年創刊の由、丁度私が見役から解放され、何か人様や、社会にお役にたてるお手伝いは、と思考していた年でもありました。九年の歳月を要した一〇〇号の重みは「さわやか」の貴重な記録でもあります。よく頑張つて続けられましたね。心からご苦労様、おめでとうございませう。と申し上げたいと存じます。新聞は、「さわやか」の現況、ボランティアの声など、様々な情報を私共に提供して下さいました。おかげさまで、私共ボランティアも「さわやか」の仲間として誇れるお手伝いのでき、事務局と利用される方と一体となった事業の、益々の発展を願い、心を新たにいたしました。

新聞創りの苦労は大変なものです。企画、原稿集め、校正、編集など多忙な作業を要しますが、その作業から生まれる新聞を楽しみに待っている方々が沢山おられる事を励みに、健康にご留意の上、これからもご精進されます様念じます。

「さわやか」新聞一〇〇号記念、祝福す

「さわやか」新聞一〇〇号記念、祝福す



るかのよう、スポーツの世界でも、大リーグで活躍中のイチロー選手千本安打、野茂選手二〇〇勝の偉業達成、と新聞、TVが賑やかです。「さわやか」新聞が全国の介護支援の仲間、知恵と糧、力と光明を示し、届けて欲しいと思ひます。

「さわやか」新聞二〇〇号発刊迄、私も身体を大切にしながら、お手伝いを続けさせて頂くことが出来れば、幸せです。

江頭理事長のおっしゃった「継続は力」人生の総てに共通する言葉です。今後共、ご指導よろしくお願い致します。

梅雨に入ったものの、週間天気予報には、今のところ雨のマークはないようです。働く主婦としては、洗濯物が早く乾くのは大歓迎ですが、一方では水不足が心配されています。何事もほどほどがいいのですが、自然の摂理には、逆らえませぬ。

新しく買った傘、出番は当分おあずけかな・・・?

(Y)



# 河添博志

## 副理事長を

### 偲んで



去る五月十四日「さわやか」の河添博志副理事長が、急逝されました。「さわやか」の設立当初からボランティアとして積極的に活動して下さり、八幡事務所には、三日に一度は顔を出されていました。NPO法人取得の際には、何度も県庁に同行して頂きました。また、副理事長としてはもちろん人生の先輩としていろいろな相談に乗っていたいただき、その都度、適切なアドバイスをいただいております。

ここに江頭理事長による弔辞を掲載させていただきます、これまでの感謝の気持ちを込めて心より「冥福をお祈りさせていただきます」。



# 弔辞

NPO法人  
「ホームヘルプ事業」  
いきいき北九州  
NPO法人  
通院介護センター  
「さわやか」

## 江頭 博幸

河添さん、あなたのあまりにも急ぎ過ぎた旅立ちに、ただ茫然自失するばかりです。

一ヶ月程前に、胆石で入院したとお聞きしていましたので、石をとれば治るだろうと気易く受けとめていました。十四日土曜日に「いきいき北九州」に顔を出したら、従業員が「河添さんがすい臓がんで黄疸がでて、両手に点滴を打っているそうです」と報告を受けました。これは大変だ、夕方にでも御見舞いに行かねばと自宅に帰った所「いきいき北九州」の山田副代表より、「今、河添さんが亡くなった」との電話。あまりにも急なこと、絶句しました。

河添さん、あなたとは、通院介護センター「さわやか」で、出会ったのが最初でした。透析患者の送迎をボランティアで行うという趣旨に賛同をいただき、心よく引き受けて下さい

した。「さわやか」の学習会や交流会にも絶えず出席していただき、その運営の為多大な御尽力をいただきました。そして、現在はNPO法人通院介護センター「さわやか」の副理事長として、その任務を全うされていきました。

六年前に、「さわやか」の送迎だけでは、「ホームヘルプ」がないと真の透析患者の社会的入院は解消されないと、NPO法人「ホームヘルプ事業いきいき北九州」を作ることになりました。この「ホームヘルプ事業」は河添さんです。この事業を起す時に河添さんに、一肌ぬいで欲しいとお願ひすると、二つ返事で快く引き受けていただきました。

それからが河添さんの苦難の人生が始まりました。まだNPO法が出されたばかりで、周囲には誰もNPOを作った事のない時代です。何の手本もなかったなか、河添さんは今まで打ったことのないワープロをマスターして、定款の作製に当たっていただきました。

福岡県のNPO相談室に八回も行って様々な指導を受け、法人が誕生しました。その御苦労は並大抵のものではありません

でした。措置制度ではじまった、ホームヘルプ事業は間もなく、介護保険制度に変わりました。

ホームヘルプ事業は当初四人で発足しました。資金なしで出たので最初の六ヶ月間は、無給で頑張っていたいただきました。

河添さんは、それでも皆の先頭に立って、私利私欲をすてて、事業の発展の為、全身全霊を使っただけで頑張りました。精神的にも、勢力を使い果たす程の活躍をされました。当時の河添さんの活動がなければ、今の「いきいき北九州」は存在しないと言っても過言ではありません。奥様にも多大な御心配やら御心労おかけしたと思います。

当時は、ケアマネジャーの指導、ヘルパーの教育、利用者との接触、財政面、法人の存続に關すること、一人何役もの任務を果たされました。本当に河添さん、ありがとうございます。あなたの活躍は、「いきいき北九州」が続く限り、その歴史の最初のページに永遠に残されるでしょう。いや残していきます。



河添さん、一〇年のおつきあいの中で、楽しいことも多々ありました。長崎県の平戸に遊びに行った時、アラカフの味噌汁をどんぶり一杯飲みほされました。透析患者でありながら、大胆不敵な人だなぁと思いました。時々行っていた飲み会では、渋いカラオケの歌声、今でも鮮明に思い浮びます。遊び事でも優能な人でした。又、奥様思いのすばらしい御主人でもありました。

この間まで、週に一回は、事務所にはブラッと訪れ、色々とお話をいただきました。あなたは、原則をまげない正統派の理論で私達を導いて下さいました。もっともっとと長生きして、私達に多くの助言や御指導をしていただきたかったのに残念でありません。

もう河添さんの正統派理論を聞くことが出来なくなりました。河添さん、あなたの急逝に、ただ驚くばかりです。あなたとの思い出はつきることがありません。悔んでも悔みきれませんが、「会者定離」の言の如く、お別れしなければなりません。河添さん、安らかに眠り下さい。

河添さん、安らかに眠り下さい。

